

丙

おん へい

5画 一 一 一 一 一 丙



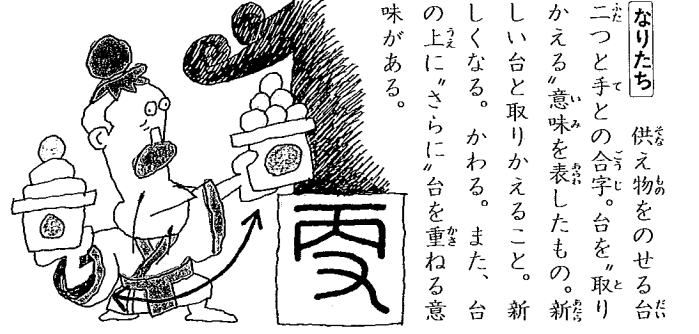
なりたち 神を祭る時に供え物をのせる台の形を表した字であるが、十千の第三番目として用いられたため、今ではもっぱらその意味に使われている。

いみじゆく
▼十千の第三番目。
丙午(ひのえ)：十千と十二支を組み合わせた年の呼び方の一つ。「丙(ひのえ)」は火の兄(え)の意味で、この年は火災が多いというような迷信がある。
▼物事の第三位。
丙種：第三番目の位。
さんこう 十千：昔の中国で宇宙のすべてをつくるものになつていると考えた木・火・土・金(こ)・水(みづ)の五つを、それぞれ兄(え)と弟(てい)にわけ、年や日を表すのに使った。甲(こう)・乙(おつ)・丙(ひのえ)・丁(てい)・戊(ご)・己(おつ)・庚(か)・辛(しん)・壬(にん)・癸(みづ)をいう。

更

おん コウ
さら・ふける・ふかす

7画 一 一 一 一 更



なりたち 供え物をのせる台二つと手との合字。台を「取りかえる」意味を表したものの。新しい台と取りかえること。新しくなる。かわる。また、台の上に「さらに」台を重ねる意味がある。

いみじゆく
▼新しくなる。あらたまる。かわる。
更新：あらたまること。あらためること。用例オリンピック記録が更新された。
更衣：服を着がえること。例 更衣室。
変更：変え改めること。例 付変更線。
▼入れかわる。人がかえられること。
▼迷い：ある役目についている人がかえられること。
▼昔の時刻の呼び方。日没から日の出の間を五等分して初更(はつもう)・五更(ごもう)と呼んだ。
深更(ふかもう)：夜ふけ。深夜(しんや)。(更が深くなった、進んだ、ということ。)

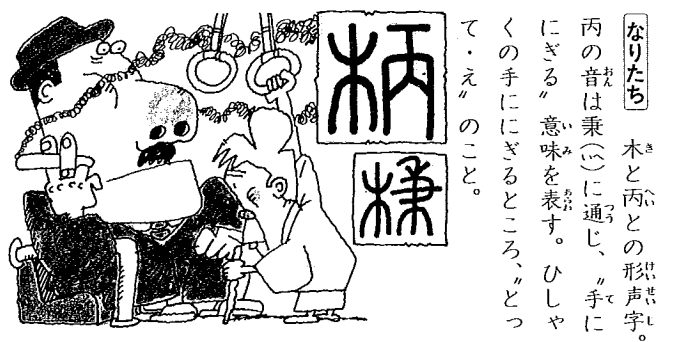
よみかた 夜更(よふか) 更改(こうかい)・更生(こうせい)・今更(いまもう)・夜更(よふか)



柄

おん へい
がら・え

9画 一 一 一 一 柄



なりたち 木と丙との形声字。丙の音は秉(へい)に通じ、手ににぎる「意味を表す。ひしゃくの手」にぎるところ、とつて「え」のこと。

いみじゆく
▼道具の握り。とつて。
柄杓(ひょう)：水をくむ道具で、お椀(わん)の形をしたものに長い柄がついているもの。
▼相手を支配する力。勢力。
権柄(けんべい)：権力。またその権力をかさに着て、人を押さえてけようとすること。用例 権柄ずくでとなりつける。
横柄(よこべい)：無礼でえらぶった態度。用例 横柄な男。
▼性質・品位。
家柄(けいべい)：先祖から引き継がれているその家の格式。用例 家柄を重んじる。
▼模様。
柄物(へいぶつ)：布や品物で模様がついているもの。例 無地柄・身柄・役柄・人柄。
よみかた 国柄(こくべい)・事柄(ことべい)・手柄(てしやべい)

硬

おん コウ
かたい

12画 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 硬



なりたち 鋼や剛の意味をもつコウの音の更と石との形声字。かたい石のこと。転じて、広く「かたい」の意味に用いられる。

いみじゆく
▼かたい。反軟(はんなん) 硬度(こうど)：かたさの度合。
硬化(こうか)：かたく変わること。また、手ごわくなること。
用例 態度がたちまち硬化した。
硬直(こうちく)：かたく、こわばること。
用例 びつくりして、からだがか硬直してしまった。
硬水(こうすい)：塩類を多く含んでいる水。石けんがよくあわだかない。例 軟水。* 鉱水は鉱物質を含んだ水。
硬球(こうきゅう)：かたいボール。硬式テニスや硬式野球に使われる球。例 軟球。
生硬(せいこう)：かたく、ぎこちないこと。用例 生硬な文章。
よみかた 硬派(こうぱ)・硬筆(こうひつ)・強硬(きやうこう)・ミニ知識(ミニちしき) 日本の硬貨(こう)Ⅱ一円・五円・十円・五十円・百円・五百円がある。

更硬

丙柄